

第17回 東松山市地域公共交通会議資料

東松山市

東松山市地域公共交通会議委員名簿

※新任

委員：17人 平成31年3月19日現在

	機 関 名	役職名	氏 名	選出区分
1	東武鉄道 株式会社	東松山駅長	イケダ トシヒコ 池田 利彦	市長が必要と認めるもの(鉄道事業者)
2	川越観光自動車 株式会社	取締役 総括部長	オサナミ カツユキ 長南 克幸	一般乗合旅客自動車運送事業者
3	国際十王交通 株式会社	営業部 部長	オグマ カズヒサ 小熊 和久	一般乗合旅客自動車運送事業者
4	有限会社 東松山交通	代表取締役	サイトウ タカユキ 齋藤 隆行	一般乗用旅客自動車運送事業者
5	イグチ交通 株式会社	代表取締役	ナカジョウ ヤス子 仲條 靖子	一般乗用旅客自動車運送事業者
6	観光タクシー 有限会社	代表取締役	スギモト トモユキ 杉本 智之	一般乗用旅客自動車運送事業者
7	一般社団法人 埼玉県バス協会	専務理事	ツルオカ ヒロシ 鶴岡 洋	一般社団法人埼玉県バス協会
8	一般社団法人 埼玉県乗用自動車協会	専務理事	タカハラ アキラ 高原 昭	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会
9	川越観光自動車 株式会社 労働組合	委員長	モリムラ マサトシ 森村 正寿	一般旅客自動車運送事業者の事業用 自動車の運転手が組織する団体
10	国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局	首席運輸 企画専門官	アオキ ヒロユキ 青木 宏之	埼玉運輸支局長又はその指名する者
11	東松山県土整備事務所 管理担当	担当課長	ニノミヤ ヨシアキ 二宮 義昭	道路管理者
12	東松山警察署 交通課	課長	コグレ ナオミ 木暮 尚巳	埼玉県警察
13	東京電機大学 理工学部	教授	タカダ カズユキ 高田 和幸	学識経験者
14	株式会社 テラプランニング	代表取締役	カトウ タカフミ 加藤 貴文	住民又は利用者の代表
15	東松山市 交通安全母の会	会長	オオクボ カツ子 大久保 勝子	住民又は利用者の代表
16	車いす友の会	代表	ゴトウ ヨシアキ 五嶋 善明	住民又は利用者の代表
17	東松山市(特別職)	副市長	ニエダ ヨシユキ 贄田 美行	市長又はその指名するもの

市内公共交通に関するアンケートについて

東松山市デマンドタクシーの本格運行が開始され約3年が経過し、市民の移動手段として定着しつつあります。また、市内循環バスの路線変更や鳩山町営路線バスの高坂駅への乗り入れが開始されるなど、市内の公共交通も変化を見せています。

市では、デマンドタクシーを始めとする市内の公共交通の今後のあり方を検討するため、基礎資料の収集を目的としたアンケート調査を下記のとおり実施いたしました。

記

- 1 期 間 平成31年1月7日（月）～平成31年1月15日（火）
※1月15日以降も到着したアンケートは受け付ける
- 2 対 象 デマンドタクシー登録者及び非登録者 1,800 人
内訳

① デマンドタクシー登録者かつ免許返納割引利用者	363 人
② デマンドタクシー登録者かつ免許返納割引非利用者	1037 人
③ デマンドタクシー非登録者	400 人

 ※①②は 85 歳以上除く
 ※③は 60 歳～75 歳の範囲で無作為抽出
- 3 内 容 ・デマンドタクシー利用前・利用後の交通手段の変化
 ・デマンドタクシーに対する満足度
 ・デマンドタクシーの運行形態や利用料金
 ・免許返納における交通手段の変化
 ・普段利用している交通手段
 等を選択式及び記述式で調査
- 4 回 収 数 537 通（回収率 30%）
※平成31年1月18日時点
- 5 実施体制 ①実施主体 東松山市（地域支援課）
 ②調査協力 東京電機大学理工学部 都市・交通計画研究室（高田研）

東松山市デマンドタクシー乗降ポイントの更新について

現状の分類の中で新設、廃止、名称変更のあったポイントについて「東松山市デマンドタクシー乗降ポイント一覧」の更新を行い、平成31年4月1日より、新たな乗降ポイント一覧での運用を開始します。

【分類一覧】

A	駅、バス停	F	医療施設（病院・診療所）
B	金融機関	G	医療施設（歯科診療所）
C	学校、幼稚園、保育園	H	医療施設（接骨院・整骨院）
D	公共施設	I	商業施設等
E	福祉施設	J	自治会館・集会所

【追加】

番号	施設名	地区
A-94	神戸神社前	バス停
A-95	稲荷橋南	バス停
A-96	悪戸	バス停
C-54	ウェルネス保育園東松山	大谷
C-55	若草駅前小規模保育園	箭弓町
C-56	フレンドキッズランド高坂園	高坂
E-18	サニーライフ東松山式番館	加美町
F-67	武蔵嵐山病院※H30.11 から	上唐子
F-68	くぼた脳神経内科クリニック	高坂

※バス停で西本宿や化石と自然の体験館は既存の乗降ポイントと重複するため除いた。

【変更】

番号	施設名	地区
C-52	たんぼぼ保育園※業態及び住所変更	本町
F-66	東松山在宅診療所※住所変更	神明町
H-8	大山鍼灸接骨院※住所変更	東平

【廃止】

番号	施設名	地区
C-53	駅前保育室	箭弓町

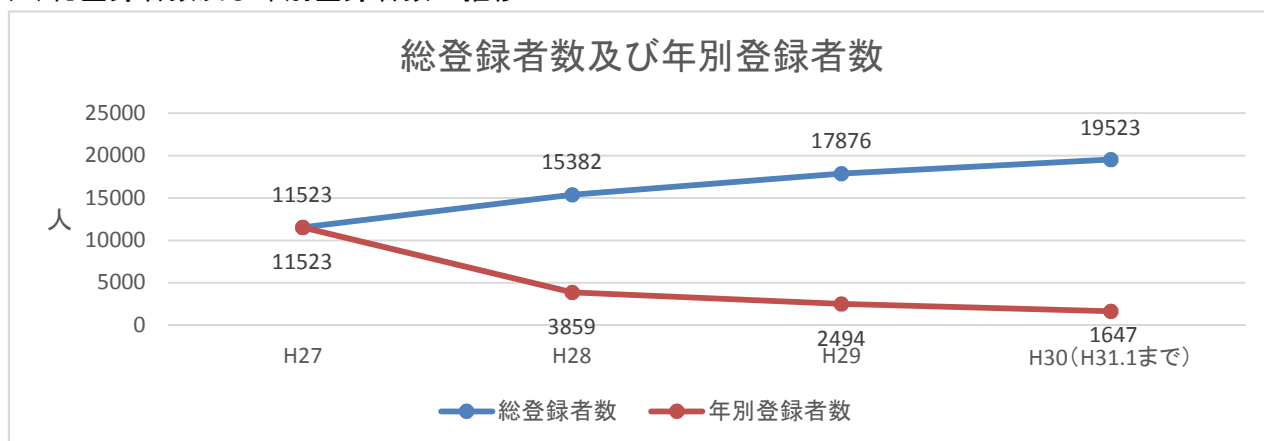
更新前 505

更新後 513 (新規 9)
(変更 3)
(廃止 1)

デマンドタクシーについて

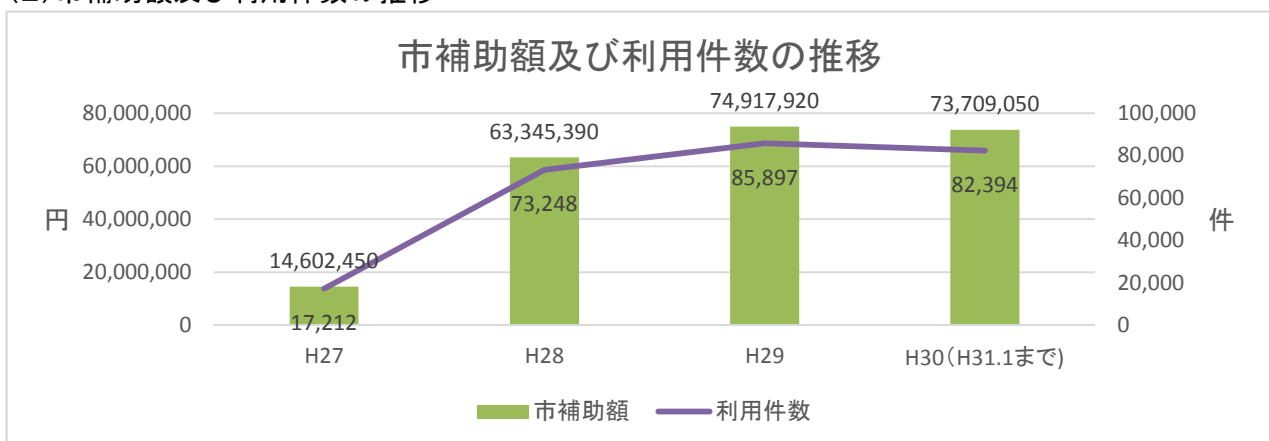
1 登録及び利用実績

(1) 総登録者数及び年別登録者数の推移



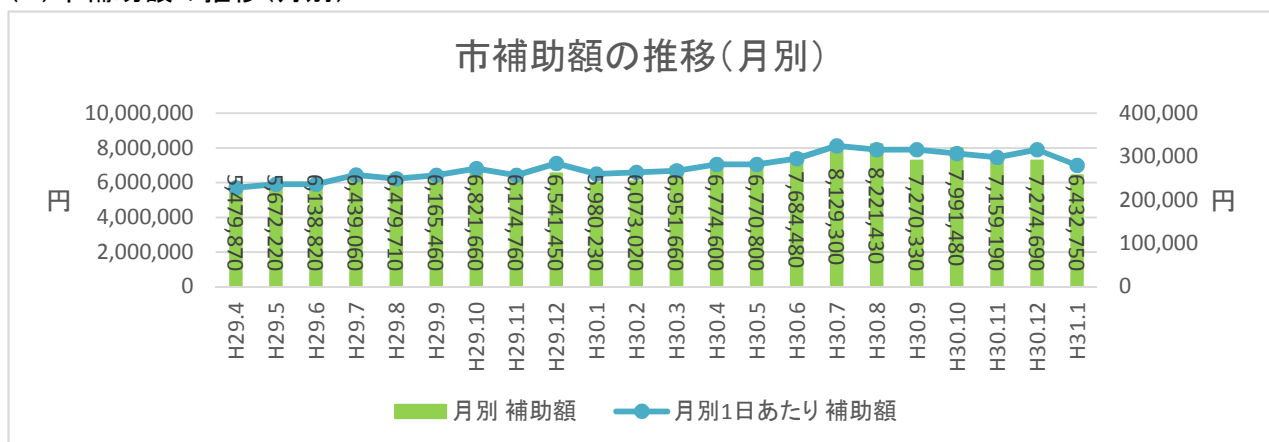
- ・平成31年1月時点で総人口の20%以上が登録
- ・登録対象者(16歳以上)と比較すると登録対象者のうち25%程度が登録
- ・登録者の70%以上が60歳以上の高齢者
- ・登録者数は増え続けているが、増加率は鈍化傾向

(2) 市補助額及び利用件数の推移



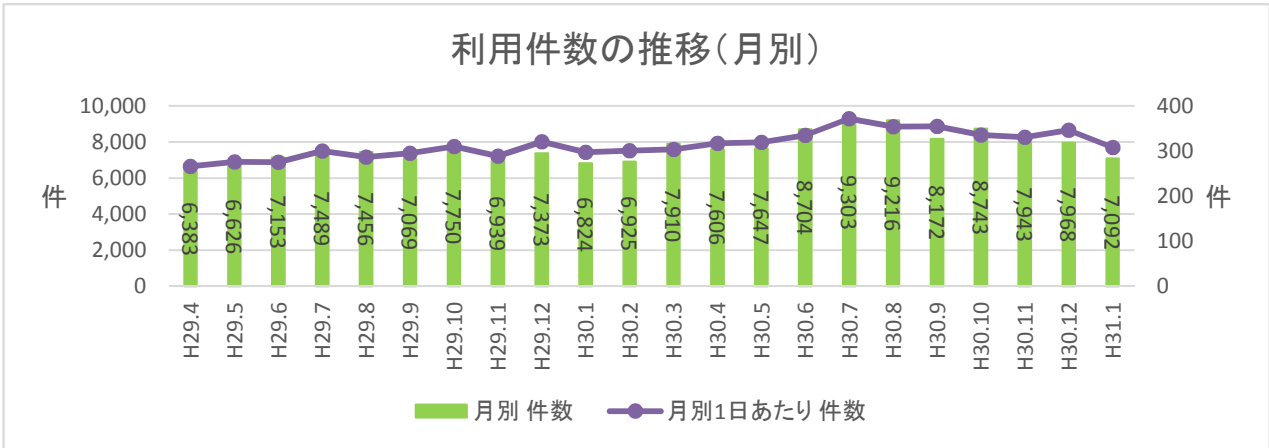
- ・市補助額及び利用件数は年々増加傾向、平成30年度も前年度実績を上回る見込み

(3) 市補助額の推移(月別)



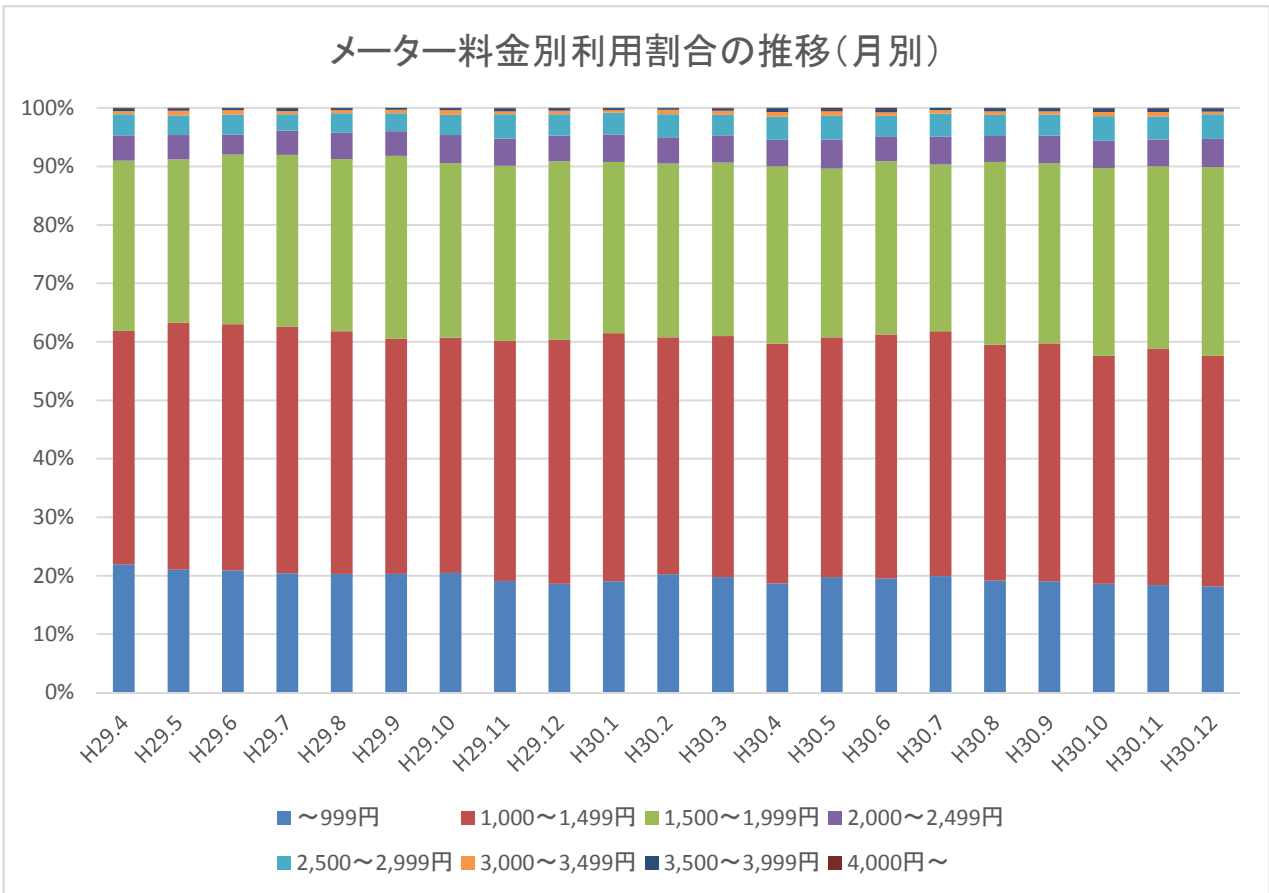
- ・月毎に多少の増減があるものの、増加傾向
- ・運行日数を考慮し、1日あたりの補助額を算出した場合でも同様に増加

(4) 利用件数の推移



- ・利用件数についても市補助額と同様の傾向
- ・利用者の85%以上が60歳以上の高齢者、登録者の割合よりもさらに高い割合
- ・自宅を除くと、「病院・診療所」の利用が最も多く、次いで「商業施設」「駅・バス停」
- ・免許返納割引及び障害者割引についてはそれぞれ全体の5%程度が利用

(5) メーター料金別利用割合の推移(月別)



- ・月別の利用割合に大幅な変化はない
- ・利用の概ね90%以上がデマンドタクシー料金500円となるメーター料金1,999円までの利用
- ・デマンドタクシー料金500円の価格帯では最大1,490円の市補助(メーター1,990円-デマンド500円)が発生
- ・利用者の負担割合が一定ではなく、改善が求められる

2 デマンドタクシー料金体系の見直しに向けた検討

(1) 現状の料金体系

メーター料金に応じた 3 段階制を採用

タクシーメーター料金	デマンドタクシー利用料金
2,000 円未満	500 円
2,000 円以上 3,000 円未満	1,000 円
3,000 円以上	1,500 円

「採用の理由」

- ・実証運行時はエリアを区切り、高坂・高坂丘陵・野本地区に限定し一律 500 円で運行
- ・本格運行に移行する際に、全市にエリアを拡大したことでタクシーメーター料金も増加することが見込まれたため、料金体系のわかりやすさも考慮し、3 段階制とした。

「運用上の課題」

- ・3 段階の定額制のため、利用者がタクシーメーター料金を意識しづらい。
- ・タクシーメーター料金の価格帯により利用者の負担割合に大きな差が生じている。

タクシーメーター料金	デマンドタクシー利用料金	市補助額	利用者の負担割合
730 円	500 円	230 円	68%
1,990 円	500 円	1,490 円	25%
2,080 円	1,000 円	1,080 円	48%
2,980 円	1,000 円	1,980 円	36%
3,070 円	1,500 円	1,570 円	48%
4,060 円	1,500 円	2,560 円	37%
5,050 円	1,500 円	3,550 円	30%

→市補助額も年々増大しており、今後料金体系を見直す中では利用者の負担割合についても考慮した料金体系を構築する必要がある。

(2) 料金体系の見直しについて

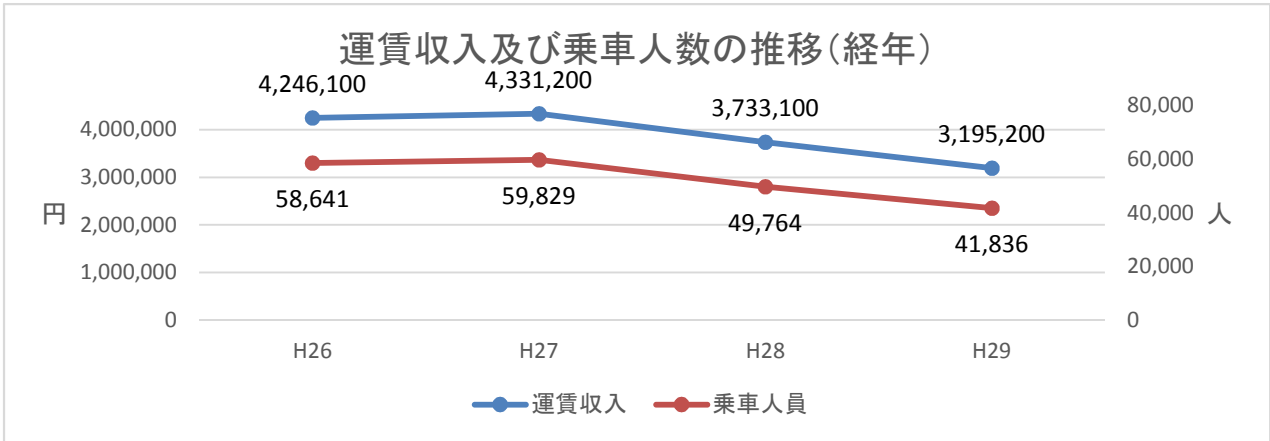
- ・平成 29 年度実績の利用者の負担割合は概ね 4 割のため、利用者の負担割合が 5 割の場合と 6 割の場合で平成 29 年度実績から市補助額を試算

	平成 29 年度実績	利用者負担割合 5 割	利用者負担割合 6 割
市補助額	74,917,920 円	60,906,960 円	48,725,568 円
差額	0 円	△14,010,960 円	△26,192,352 円

※免許返納割引及び障害者割引は考慮せずに試算

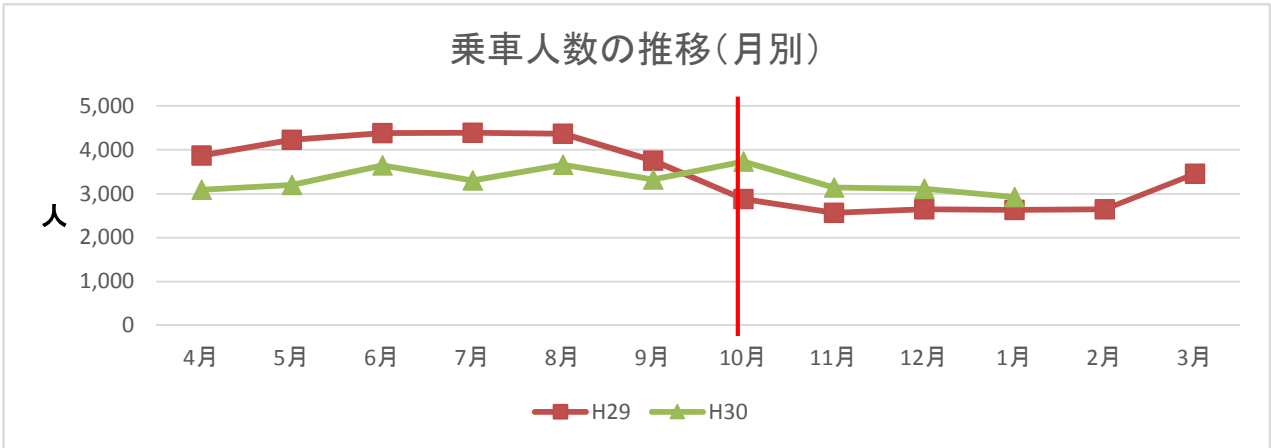
市内循環バスについて

(1) 運賃収入及び乗車人数の推移



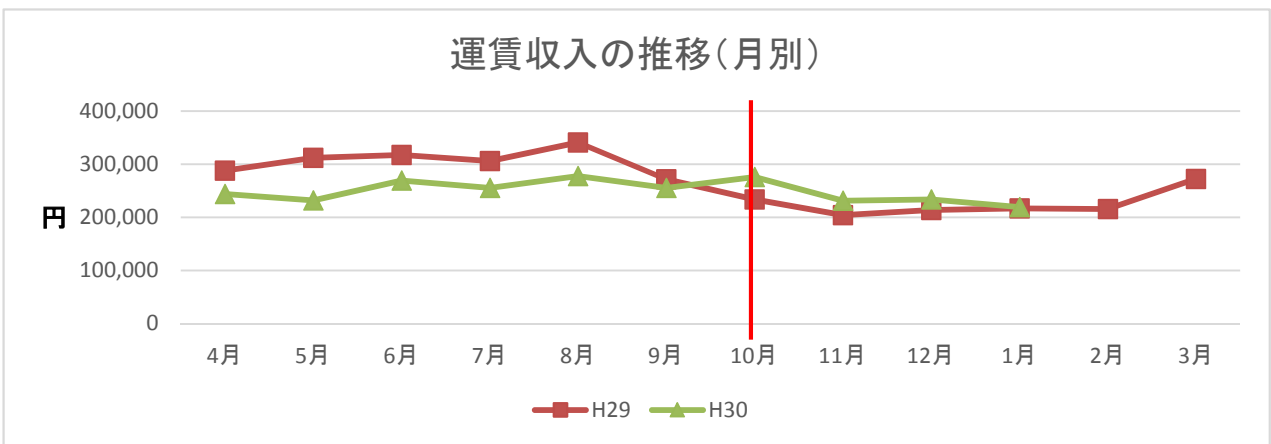
- ・人員は年々減少傾向
- ・平成29年10月より、野本高坂コースを廃止し、大谷・唐子コースのルート及びダイヤを改正

(2) 乗車人数の推移(月別)



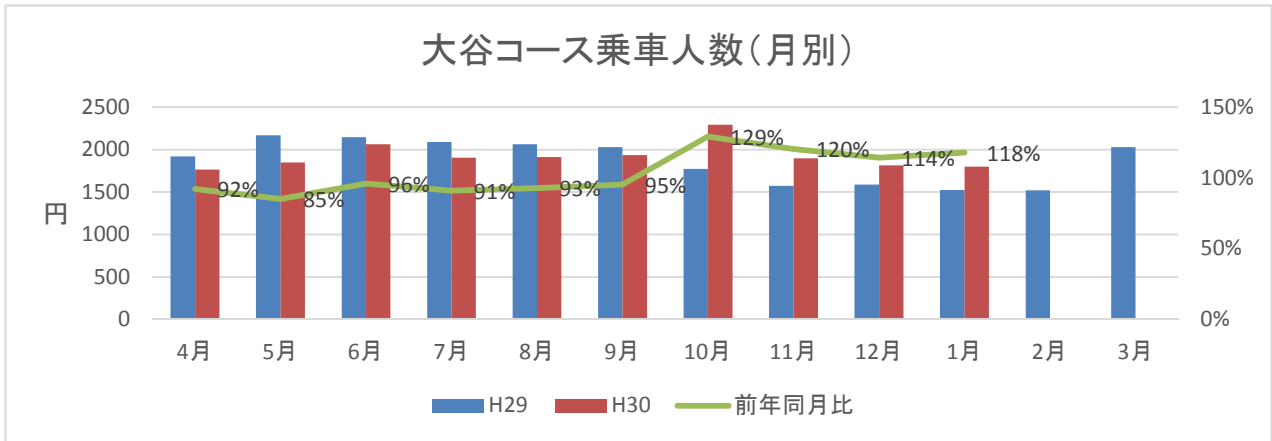
- ・4月から9月については平成29年3コースと平成30年2コースの比較
- ・ルート改正後の10月以降は平成29年度と比較し平成30年度は乗車人数が増加

(3) 運賃収入の推移(月別)



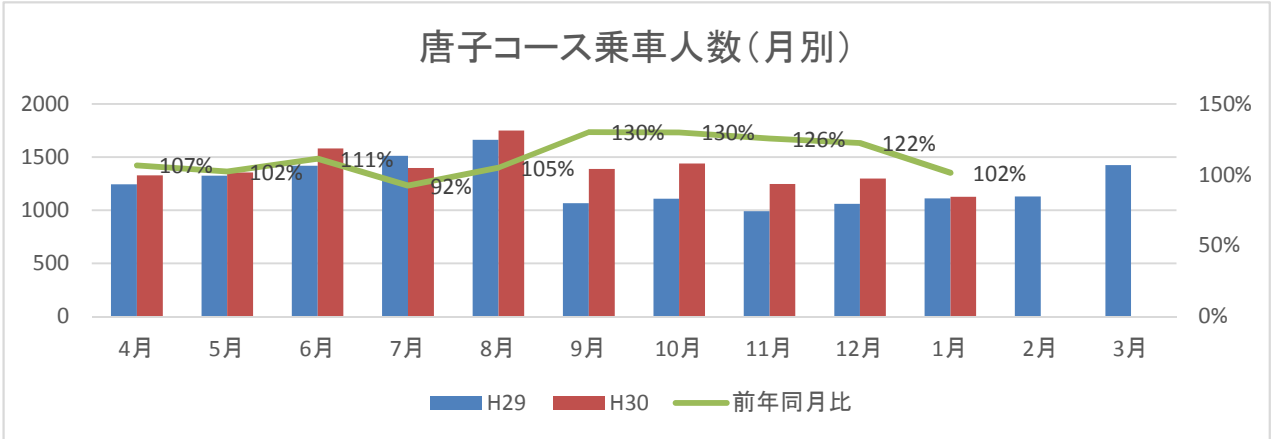
- ・運賃収入についても同様の傾向

(4)大谷コースの乗車人数の推移(月別)



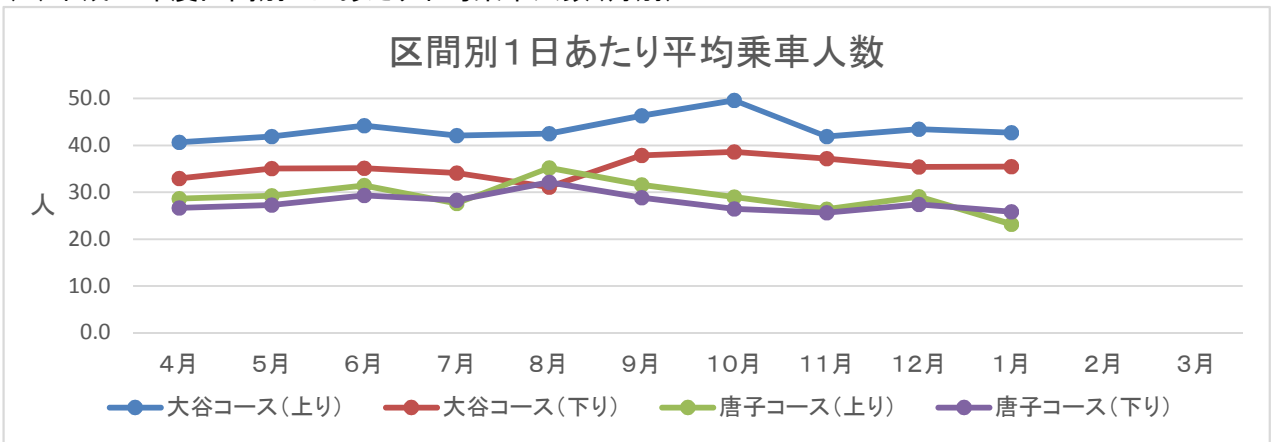
- ・4月から9月を比較するとルート変更前に近い水準の乗車人数を維持
- ・10月以降は平成29年度よりも乗車人数が増加

(5)唐子コースの乗車人数の推移(月別)



- ・4月から9月を比較するとルート変更前よりも乗車人数は増加
- ・10月以降についても平成29年度を上回っており、はっきりとした改善効果が見られる。

(6)平成30年度区間別1日あたり平均乗車人数(月別)



- ・大谷コース(上り)の乗車人数が最も多く、次いで大谷コース(下り)が多い
- ・市民病院の利用者が多いと考えられる